

情報収集衛星に係る経費の令和元年度補正予算案及び 令和２年度政府予算案

令和２年１月
内閣官房

1. 令和元年度補正予算案の概要

安全保障及び危機管理に必要な情報収集体制を強化するため緊急に対応すべきものとして、以下の施策を行う。

- (1) 情報収集衛星光学８号機、レーダ７号機、レーダ８号機及び光学多様化１号機に必要な部品・材料等の早期調達を行い、製作・試験を可能な限り早期に実施することで、開発工程における重要な品質の問題等を早期に把握・解決し、工程の遅延リスクを低減する。
- (2) 打上げ用ロケット（レーダ７号機、光学８号機）の組立・試験工程の前倒しを実施し、ロケットの組立・試験工程の時間を十分に確保することで、ロケット製造体制を強化し、確実なロケットの打上げを行う。

2. 令和２年度政府予算案の概要

今年度に引き続き、ユーザー・ニーズに対応しつつ、合計１０機（基幹衛星４機、時間軸多様化衛星４機、データ中継衛星２機）の整備を目標とし、令和２年度については、以下のような方針の下、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。

- (1) 光学７号機、光学８号機、光学９号機の開発を継続する。
- (2) レーダ７号機、レーダ８号機の開発を継続する。
- (3) 光学時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (4) レーダ時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (5) 令和７年度の運用開始に向け、第八期地上システムの開発を継続する。
- (6) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を拡充・強化する。

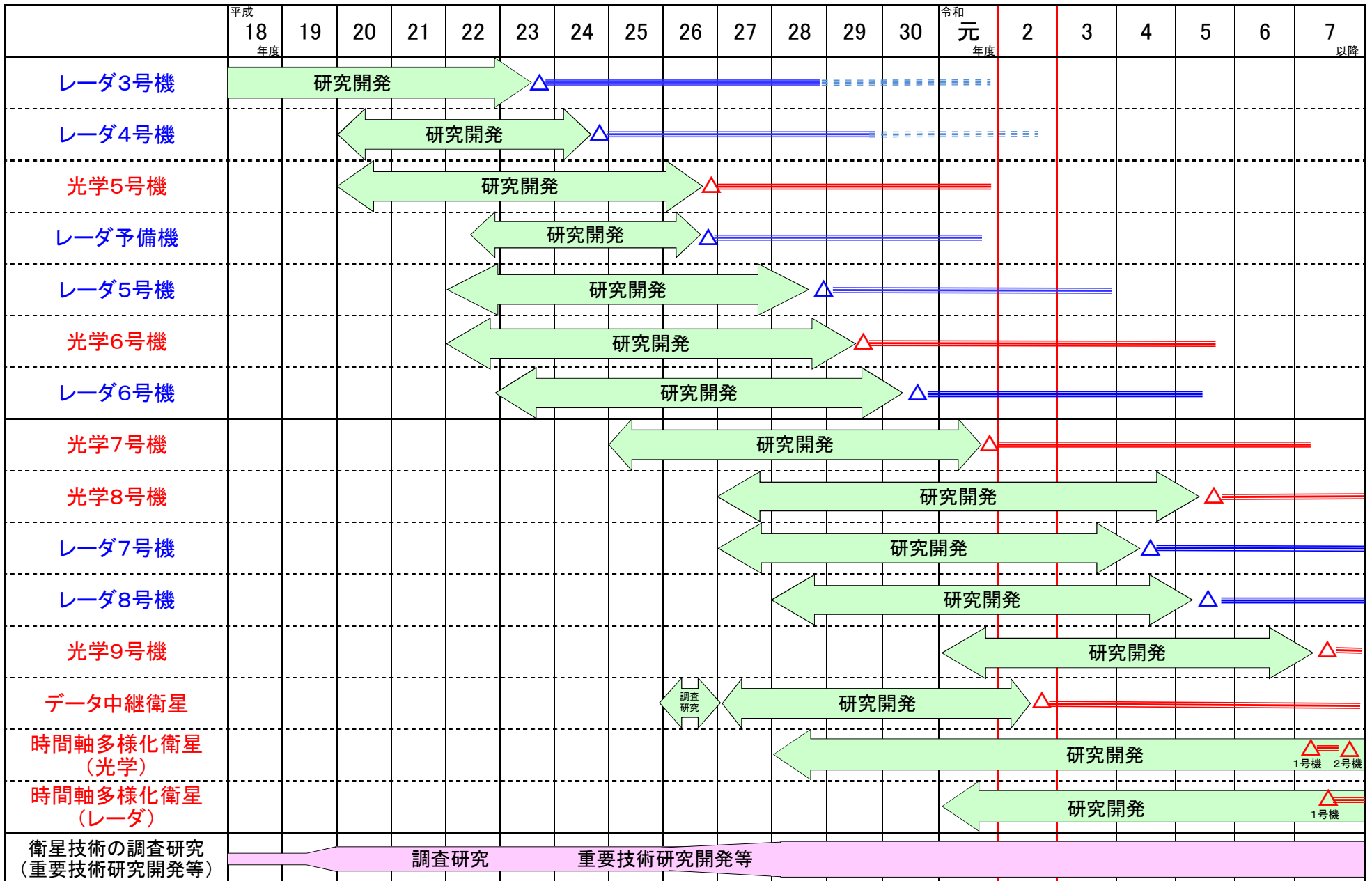
3. 令和元年度補正予算案及び令和2年度政府予算案の内訳

(単位：億円)

経費区分	令和元年度 当初予算額 (A)	令和元年度 補正予算案	令和2年度 政府予算案 (B)	対前年度 比較増減 (B)-(A)
(1) 情報収集衛星の運用等	230	7	243	13
(2) 光学7号機の開発	105	0	26	▲79
(3) 光学8号機の開発	30	36	55	25
(4) 光学9号機の開発	25	0	72	47
(5) レーダ7、8号機の開発	99	78	173	75
(6) データ中継衛星の開発	70	0	5	▲65
(7) 光学時間軸多様化1号機の開発	12	30	2	▲9
(8) レーダ時間軸多様化1号機の開発	4	0	1	▲3
(9) 衛星技術の調査研究等	46	8	48	2
合計	621	160	625	5

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

研究・開発及び打上げスケジュール



※令和2年度予算案時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。